

平成 17 年度学会発表・講演等一覧

[企画部]

- 第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・地震・津波・火山噴火・風水害への国土地理院の対応：箱岩英一
- 平成 17 年度国土交通省国土技術研究会 平成 17 年 10 月 25, 26 日 都市センターホテル (東京都千代田区)
- ・災害時における地理情報の提供に関する技術開発：富田光治
 - ・地理情報標準プロファイル：大塚孝治

[測地部]

- 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会 平成 17 年 5 月 22 日~26 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- ・セミ・ダイナミック測地系における地殻変動モデルの比較：田中愛幸・松坂茂・飛田幹男 (地理地殻活動研究センター)・辻宏道 (企画部)・畑中雄樹 (測地観測センター)・今給黎哲郎 (地理地殻活動研究センター)
 - ・電子基準点標高改定による日本のジオイド 2000 への影響の評価と改良ジオイドモデルの検討：野村勝弘・福崎順洋・渡辺政幸
- 第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・大地震で動いた基準点の座標メンテナンス：白井康友
- IGOS Geohazards Workshop 2005 (統合地球観測戦略 陸域災害ワークショップ 2005) 平成 17 年 6 月 27 日 フランス地質調査所 (フランス国オルレアン市)
- ・Integration of GPS and InSAR data in Japan (日本での干渉 SAR と GPS の融合)：藤原智
- 2005 年電子情報通信学会ソサイエティ大会 平成 17 年 9 月 20 日 北海道大学 (北海道札幌市)
- ・合成開口レーダによる地殻変動の観測の現状と将来：藤原智
- 地球電磁気・地球惑星圏学会第 118 回総会・講演会 平成 17 年 9 月 30 日 京都大学 (京都市左京区)
- ・球面調和解析による日本標準磁場モデル：紀小麗・白井宏樹・鈴木啓・何金蘭・宇津木充 (京都大学)
- 第 25 回極地地学シンポジウム 平成 17 年 10 月 13 日 国立極地研究所 (東京都板橋区)
- ・昭和基地 GPS 連続観測点におけるジオイド高の決定：森田和幸
 - ・ラングホプデ GPS 固定点による露岩域変動測定 ()：森田和幸・小谷京湖 (測地観測センター)・宮原伐折羅 (測地観測センター)
- 平成 17 年度国土交通省国土技術研究会 平成 17 年 10 月 25, 26 日 都市センターホテル (東京都千代田区)
- ・国土地理院の VLBI 観測の国際的貢献：藤咲淳一
- 日本測地学会第 104 回講演会 平成 17 年 10 月 27 日 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール (京都市左京区)
- ・絶対重力計 FG5 の相互比較(4)：平岡喜文・本田昌樹・大久保修平 (東京大学地震研究所)・孫文科 (東京大学地震研究所)・松本滋夫 (東京大学地震研究所)・菅野貴之 (東京大学地震研究所)・福田洋一 (京都大学大学院理学研究科)・東敏博 (京都大学大学院理学研究科)・杉原光彦 (産業技術総合研究所)・

- 上田和永（産業技術総合研究所）・水島茂喜（産業技術総合研究所）
- ・新しい重力基準網の構築：平岡喜文・本田昌樹・板橋昭房・雨宮秀雄
ALOS/PALSAR に向けた InSAR 研究の展望 平成 17 年 11 月 18 日 宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター（東京都中央区）
 - ・JERS-1 干渉 SAR データにはまだまだ宝が埋まっている：藤原智
東大地震研共同利用研究集会 2005-W-05「地球電磁気現象における基準場と変動場」 平成 17 年 12 月 21 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
 - ・日本の地磁気測量と地磁気モデル：白井宏樹・紀小麗・鈴木啓・何金蘭・宇津木充（京都大学）
地震予知のための新たな観測研究計画平成 18 年度成果報告シンポジウム 平成 18 年 3 月 15 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
 - ・VLBI 測量：高島和宏
日本地理学会 2006 年春季学術大会公開特別セッション 平成 18 年 3 月 29 日 埼玉大学(埼玉県さいたま市)
 - ・SAR 解析による地殻変動量と地震断層の推定：藤原智・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）・佐藤浩（地理地殻活動研究センター）・小沢慎三郎（地理地殻活動研究センター）・宇根寛（地理地殻活動研究センター）

[測図部]

- 第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・航空機・衛星による災害状況把握技術の発展：浦部ぼくろう
日本写真測量学会平成 17 年度秋季学術講演会 平成 17 年 10 月 26, 27 日 熊本市国際交流会館（熊本県熊本市）
 - ・ALOS を想定した SPOT5 圧縮画像による地物判読検証：笹川啓・石関隆幸
 - ・QuickBird ステレオ画像に見られる歪みについて：野口真弓（地理調査部）・下野隆洋
 - ・ツールールソのための DSM 自動生成手法の検討：武田浩志（日本測量調査技術協会（株国際航業））・大山容一（日本測量調査技術協会（株国際航業））・柴田光博・大木章一
電子情報通信学会 2006 年総合大会 平成 18 年 3 月 24~27 日 国土館大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)
 - ・光センサによる地図作成の現状と将来：田中宏明
 - ・Observation, communication and positioning technology of equipments mounted on satellite, aircraft, ship and ground：石関隆幸

[地理調査部]

- 第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・防災地理情報の整備とハザードマップへの応用：鈴木義宜
日本国際地図学会平成 17 年度定期大会 平成 17 年 8 月 6, 7 日 首都大学東京国際交流会館（東京都八王子市）
 - ・「数値地図 5m メッシュ（標高）」の活用例：門脇利広・磯部民夫・太田正孝
 - ・主題図地図画像のインターネット公開：清水雅行・太田正孝
日本写真測量学会平成 17 年度秋期学術講演会 平成 17 年 10 月 26, 27 日 熊本市国際交流会館（熊本

県熊本市)

- ・ SAR 画像による水害時における浸水区域抽出手法の検討：中澤明寛 (アジア航測)・沼田洋一 (アジア航測)・岡谷隆基・沼田佳典
8th SOUTH EAST ASIA SURVEY CONGRESS 2005 (第8回東南アジア測量会議 2005) 平成 17 年 11 月 21 日~25 日 ブルネイ = ダルサラーム国バンダスリブガワン
- ・ GLOBAL LAND COVER DATA DEVELOPMENT AS A PART OF GLOBAL MAPPING (地球地図整備における全球土地被覆データ整備について):丸山弘通・佐々木久和・岡谷隆基
CEReS 国際リモートセンシングシンポジウム 平成 17 年 12 月 13 日 千葉大学けやき会館(千葉県千葉市)
- ・ Satellite Observation and Analysis of Terrestrial Environmental Changes (衛星データによる地球表層環境変動の実態把握とその要因解析):岡谷隆基・中島秀敏・沼田佳典・山田美隆

[地理情報部]

- 第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
- ・ 電子国土による災害情報のリアルタイム発信：根本正美
第 22 回国際地図学会議 平成 17 年 7 月 9~16 日 国際会議場 (スペイン国ア・コルーニャ市)
- ・ Realization of the “Digital Japan” concept and challenge for new business models (「電子国土」構想の実現と新たなビジネスモデルの展開):久保紀重
- ・ By dynamic portrayal and direct location method for new geographic information processing web service (動的図式描画を実現したウェブマップサービス):大野裕幸
日本国際地図学会平成 17 年度定期大会 平成 17 年 8 月 6 日 首都大学東京国際交流会館 (東京都八王子市)
- ・ 「電子国土」の教育利用：根本正美
- ・ 地図閲覧サービスの立体視システムの開発：山本陽子
東京大学空間情報科学研究センター第 8 回シンポジウム - CSIS DAYS 2005 - 平成 17 年 9 月 28 日 東京大学本郷キャンパス山上会館 (東京都文京区)
- ・ 電子国土 Web システムについて：河瀬和重
平成 17 年度国土交通省国土技術研究会 平成 17 年 10 月 25, 26 日 都市センターホテル (東京都千代田区)
- ・ ユニバーサルデザイン地図に配慮した地理情報の提供：今溝孝男
平成 17 年度国土交通先端技術フォーラム 平成 18 年 2 月 20 日 九州大学医学部百年講堂 (福岡県福岡市)
- ・ 新たな地理情報インフラの展開：稲葉和雄

[測地観測センター]

- 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会 平成 17 年 5 月 22 日~26 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- ・ GEONET が捉えたスマトラ島沖の地震の地震波：畑中雄樹
- ・ GEONET のリアルタイム解析における成果：矢萩智裕
- ・ 長基線 KGPS 測位精度に与えるマルチパスの影響について：河合晃司 (海上保安庁)・成田誉孝 (海上保

- 安庁)・藤田雅之(海上保安庁)・石川直史(海上保安庁)・淵之上紘和(海上保安庁)・長岡継(海上保安庁)・浅田昭(東大生産研)・望月将志(東大生産研)・畑中雄樹・野神憩(測地部)
- ・広域 GPS ネットワークを用いたリアルタイム地殻変動監視 - 減災システムとしての GEONET の可能性 - : 山際敦史
測地学会総会 平成 17 年 5 月 25 日 幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)
 - ・地球センサーとしての GPS 連続観測網の高度化 - GPS 観測量に含まれるシグナルとノイズの分離 - : 畑中雄樹
第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
 - ・リアルタイム減災システムとしての GEONET : 山際敦史
宇宙応用シンポジウム - 災害監視衛星特集 - 平成 17 年 7 月 29, 30 日 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター(茨城県つくば市)
 - ・GPS 連続観測網による地殻変動の観測 : 畑中雄樹
日本測地学会第 104 回講演会 平成 17 年 10 月 25 日~27 日 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール(京都市左京区)
 - ・GEONET の整数値バイアス決定性能について : 畑中雄樹
 - ・GPS 衛星のアンテナ位相特性モデルの違いが測位解に及ぼす影響 : 宮原伐折羅
 - ・樹木の生長、積雪による電子基準点の受信障害の回避 : 小清水寛
 - ・GEONET による全国的な地殻監視に向けた支援システムの構築 : 小清水寛
2005 AGU Fall Meetings 平成 17 年 12 月 5 日~9 日 モスコーンセンター(アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ)
 - ・Real-time monitoring of crustal deformation using large GPS geodetic networks-Replay of two major earthquakes with Japanese GEONET 1Hz data. (広域 GPS 測地網を用いた地殻変動のリアルタイム監視 - GEONET1 秒データによる 2 つの主要な地震の再現) : 山際敦史・畑中雄樹・Yehuda Bock (Scripps Institution of Oceanography, University of California, San Diego)
第 30 回日本フィッシュン・トラック研究会 平成 18 年 1 月 13, 14 日 防災科学技術研究所(茨城県つくば市)
 - ・宇宙技術を利用した地殻監視システム~GPS 連続観測システム(GEONET)とリアルタイム減災システムとしての応用 : 山際敦史

[地理地殻活動研究センター]

- 新潟県中越地震に関する緊急研究シンポジウム 平成 17 年 5 月 13 日 長岡工業高専(新潟県長岡市)
- ・発生土砂災害の実態把握とその地質、地形的特徴 : 佐藤浩
日本地形学連合 2005 年春季大会 平成 17 年 5 月 14, 15 日 九州大学(福岡県福岡市)
 - ・新潟県中越地震で生じた地形変化の定量的な把握 : 佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜(地理調査部)・飯田誠(地理調査部)
 - ・中越地方芋川流域の雪崩に関するハザードマップ基礎情報図の作成 : 佐藤浩・関口辰夫・神谷泉・長谷川裕之・小白井亮一
UJNR 耐風・耐震構造専門部会 平成 17 年 5 月 21 日 長岡雪氷防災研究所(新潟県長岡市)
 - ・The relationship between landslide distribution and the superposition of geology, geomorphology, and hypocenter: The mid Niigata earthquake in 2004 (斜面崩壊発生分布と地質・地形・震源の重

ね合わせ): 佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜(地理調査部)・飯田誠(地理調査部)・杉山正憲(企画部)

地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会 平成 17 年 5 月 22 日~26 日 幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)

- ・上野巳新田 - 富巻山間の距離変化: 海津優・根本悟
- ・2004 年末に釧路沖で発生した 2 つの M7 地震の前にプレート境界上において進行していたゆっくり地すべり: 村上亮
- ・新潟県中越地震に関連した地殻変動観測結果と断層モデル: 今給黎哲郎
- ・東海地方の遷移的地殻変動の最近の状況: 小沢慎三郎・水藤尚・村上亮・海津優・今給黎哲郎・畑中雄樹(測地観測センター)
- ・北海道南西沖地震の余効変動の再検討(2): 西村卓也・ウェイン サッチャー(米国地質調査所)
- ・キネマティック GPS による新潟県中越地震の地震動と地殻変動: 西村卓也・今給黎哲郎・海津優・吉田康宏(気象研究所)
- ・2004 年紀伊半島南東沖地震の余効変動と東海地方の非定常地殻変動: 水藤尚・今給黎哲郎・小沢慎三郎・海津優
- ・衛星画像に基づく 2004 年スマトラ沖地震の断層モデル: 水藤尚・今給黎哲郎・飛田幹男・海津優
- ・重力衛星精密軌道データからの重力場の復元 - 序報 - : 黒石裕樹
- ・衛星重力観測シミュレーションで用いる時間変動地球重力場モデルの構築: 菅野貴之・山本圭香・福田洋一(京都大学大学院)・市川香・広瀬直毅(九州大学)・仲江川敏之(気象研)・奥野淳一・孫文科(東大地震研)・黒石裕樹・松本晃治(国立天文台)
- ・衛星レーダー画像によるスマトラ島北部の海岸線変化・津波遡上域の把握: 飛田幹男・福崎順洋・加藤敏・海津優・村上亮・津沢正晴・今給黎哲郎・矢来博司・水藤尚・藤原智(測地部)・板橋昭房(測地部)・仲井博之(測地部)
- ・大気角運動量関数に見られる季節変動成分の経年変化: 眞崎良光
- ・昭和基地で行われた南極 VLBI 実験の解析(その 3): 福崎順洋・渋谷和雄・土井浩一郎(極地研究所)・寺家孝明(国立天文台)
- ・福岡県西方沖の地震(M7.0)に伴う地殻変動と断層モデル: 西村卓也・藤原智(測地部)・水藤尚・村上亮・飛田幹男・矢来博司

2005 AGU Joint Assembly 平成 17 年 5 月 23 日~27 日 アメリカ合衆国ルイジアナ州ニューオーリンズ

- ・A semi-analytic evaluation of the effect of second-order ionosphere term on GPS positioning (電離層伝搬遅延二次項がもたらす測位誤差の半解析的評価法について): 宗包浩志
- 第 34 回国土地理院技術研究発表会 平成 17 年 6 月 1 日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
- ・海溝型地震の理解に向けて - 地殻変動によるアプローチ - : 西村卓也
- 大規模地震時地すべりと対応・対策 平成 17 年 6 月 14 日 京都大学防災研究所(京都府宇治市)
- ・新潟県中越地震の災害現況図作成と地すべり分布: 佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜(地理調査部)・飯田誠(地理調査部)
- 日本写真測量学会平成 16 年度年次学術講演会 平成 17 年 6 月 23,24 日 東京ビッグサイト(東京都江東区)
- ・GPS, 無線 LAN, IC タグを併用した測位: 神谷泉・小白井亮一・増田亮太(日立製作所)・神田秀彦(日

立産機システム)・羽場純(日立産機システム)

- ・LIDAR 反射強度と高さデータを用いた道路領域抽出:長谷川裕之・神谷泉・都竹正志(中日本航空)・小美博規(中日本航空)
 - ・航空レーザ測量による新たな植生図作成手法の検討:宮坂聡(中日本航空)・佐藤浩・加藤悟(中日本航空)・前島秀行(中日本航空)・吉田夏季(中日本航空)・小美博規(中日本航空)
 - ・白神山地における航空ハイパースペクトルセンサデータを用いた樹種判別の可能性に関する研究:佐藤浩・宮坂聡(中日本航空)
- 第22回国際地図学会議 平成17年7月9~16日 国際会議場(スペイン国ア・コルーニャ市)
- ・Mapping of Topography and Vegetation in Shirakami Mountains "World Heritage Natural Resources" in Japan(世界自然遺産白神山地における地形と植生の図化):佐藤浩・関口辰夫
- 21COE 国際シンポジウム 2005 固体地球における時空間的ゆらぎ 平成17年7月22~24日 仙台市戦災復興記念館(宮城県仙台市)
- ・Re-examination of the postseismic deformation associated with the 1993 Mw7.7 Hokkaido Nansei-Oki earthquake(1993年北海道南西沖地震の余効変動の再検討):西村卓也・ウェイン サッチャー(米国地質調査所)
- 地理学がとらえる災害(中・高生のための災害セミナー) 平成17年7月23日 立命館大学(京都府京都市)
- ・ハザードマップで災害に備える:宇根寛
- 日本国際地図学会平成17年度定期大会 平成17年8月6,7日 首都大学東京国際交流会館(東京都八王子市)
- ・迅速測図原図の幾何補正精度に関する研究:長谷川裕之・吉田幸子・小白井亮一
- アジア・オセアニア地球科学会第2回年次総会 平成17年8月20~24日 シンガポール
- ・Re-examination of the postseismic deformation associated with the 1993 Mw7.7 Hokkaido Nansei-Oki earthquake(1993年北海道南西沖地震の余効変動の再検討):西村卓也・ウェイン サッチャー(米国地質調査所)
- Dynamic Planet 2005 平成17年8月22~26日 オーストラリア国ケアンズ市
- ・Preliminary results of regional gravity field modeling from GRACE data in the vicinity of Japan(日本域における地域的重力場の GRACE データからの決定に関する予備的調査):黒石裕樹・D.D. Rowlands(ダコード宇宙飛行センター)・F.G.R. Lemoine(ダコード宇宙飛行センター)
 - ・Time-variation of seasonal atmospheric angular momentum functions from different meteorological data sets during 1979-2001(1979年から2001年までの異なる気象データから計算したAAM関数季節変化の経年変化):眞崎良光
- TXテクノロジーショーケース ツクバ・イン・アキバ 2005 平成17年9月21,22日 秋葉原コンベンションホール(東京都千代田区)
- ・衛星 SAR を用いた海岸線変化抽出法のスマトラ地震への適用:飛田幹男
 - ・いつでも、どこでも 10cm レベルの測位を目指して:神谷泉
- 日本地理学会 2005 年度秋季学術大会 平成17年9月17~19日 茨城大学水戸キャンパス(茨城県水戸市)
- ・多摩丘陵の雑木林における航空レーザ測量で把握した植生高と萌芽更新年の関係:佐藤浩・宮坂聡(中日本航空)・加藤悟(中日本航空)

- ・関東平野北東部，常陸台地における MIS5 の段丘形成過程：大井信三・横山芳春（早稲田大学理工総研）
- ・新潟県中越地震における斜面崩壊の分布：関口辰夫・佐藤浩
- ・干渉 SAR による地すべりの検出と地形との関係：関口辰夫・藤原智・飛田幹男・矢来博司・大井信三
Journées 2005 Systemes de Reference Spatio-Temporels (Journées 2005 空間と時間の基準系) 平成 17 年 9 月 19~21 日 ポーランド国ワルシャワ
- ・Comparison of two AAM functions calculated from NCEP/DOE and ERA-40 reanalyses data sets (NCEP/DOE、ERA-40 の再解析気象データセットから計算された 2 つの AAM 関数の比較)：眞崎良光
東京大学空間情報科学研究センター第 8 回年次シンポジウム 平成 17 年 9 月 27~28 日 東京大学本郷キャンパス山上会館（東京都文京区）
- ・無線 LAN 測位，GPS との融合，IC タグとの併用 - 屋内外のシームレス測位 -：神谷泉・小白井亮一(日本地図センター)・増田亮太(日立製作所)・神田秀彦(日立産機システム)
- ・地形的条件から見た日本と英国の道路網の比較：頼理沙・長谷川裕之・佐藤浩
2005 年度日本雪氷学会全国大会 平成 17 年 9 月 28~30 日 旭川クリスタルホール（北海道旭川市）
- ・新潟県中越地方芋川流域の雪崩に関するハザードマップ基礎情報図の試作：関口辰夫・佐藤浩・神谷泉・長谷川裕之・小白井亮一・秋山實・秋山一弥（土木研究所）
- ・日本全体における雪崩地形の分布と形態的特徴：関口辰夫・秋山一弥（土木研究所）
IASPEI (International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior)(国際地震学・地球内部物理学協会総会) 平成 17 年 10 月 2~8 日 チリ国サンチアゴ
- ・Relationship Between Transient Crustal Deformation in Tokai Region, Japan and Postseismic Deformation by the 2004 Kii Peninsula Earthquake (東海地域の非定常地殻変動と 2004 年伊半島沖地震の余効変動との関係)：水藤尚・小沢慎三郎・今給黎哲郎
日本火山学会 2004 年度秋季大会 平成 17 年 10 月 5~9 日 北海道大学学術交流会館（北海道札幌市）
- ・伊豆大島の最近の地殻変動：村上亮
地理情報システム学会第 14 回研究発表大会 平成 17 年 10 月 13, 14 日 大阪工業大学大宮キャンパス（大阪府大阪市）
- ・「地理情報標準」の利用促進に関する研究：小荒井衛・大塚孝治（企画部）・久保紀重（企画部）・太田守重（国際航業）・大伴真吾（朝日航洋）・大地賢一（元測技協）
日本地震学会 2005 年秋季大会 平成 17 年 10 月 19~21 日 北海道大学（北海道札幌市）
- ・測地データによる 1952 年十勝沖地震の断層モデル再検討：西村卓也
- ・2004 年釧路沖地震以降の北海道東部の地殻変動とその解釈：水藤尚・小沢慎三郎・村上亮
- ・衛星レーダー画像による 2004 年・2005 年スマトラ地震に伴う隆起・沈降：飛田幹男・水藤尚・今給黎哲郎・加藤敏・西村卓也・藤原智（測地部）・村上亮
- ・2003 年十勝沖地震以降北海道東部千島海溝沿いプレート境界上で進行しているスロースリップ：村上亮
- ・2005 年宮城県沖野地震に伴う地殻変動と断層モデル：今給黎哲郎
日本測地学会第 104 回講演会 平成 17 年 10 月 25~27 日 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール（京都市左京区）
- ・伊豆大島の最近の地殻変動：村上亮・山田晃子（測地部）・佐々木利行（測地部）・真野宏邦
- ・2003 年十勝沖地震以降北海道東部千島海溝沿いプレート境界上で進行しているスロースリップ：村上亮・水藤尚・小沢慎三郎・川本利一（北海道地方測量部）
- ・2005 年 8 月 16 日宮城県沖地震による地殻変動と断層モデル：今給黎哲郎

- ・北アルプス穂高岳での GPS 観測(2) - 飛騨山脈の隆起運動の測地学的検証 - : 西村卓也・鷺谷威(名古屋大学大学院)・今給黎哲郎・国土地理院穂高岳測量班
- ・重力衛星 GRACE 観測からの日本周辺の重力場復元 - 序報 : 黒石裕樹・David D. Rowlands, Frank G. R. Lemoine(ゴダード宇宙飛行センター)
- ・衛星レーダー画像解析による 2004 年・2005 年スマトラ地震に伴う隆起・沈降 : 飛田幹男・水藤尚・今給黎哲郎・加藤敏・西村卓也・藤原智(測地部)・村上亮
- ・衛星測位シミュレータの開発と準天頂衛星の GPS 補完効果のシミュレーション : 福崎順洋・宗包浩志・黒石裕樹・松坂茂(測地部)・眞崎良光
- ・準天頂衛星システムによる高精度測位実験システム : 新井直樹・坂井文泰・福島荘之介・伊藤憲(電子航法研究所)・沢辺幹夫(JAXA)・黒石裕樹・福崎順洋
- ・3 種類の再解析気象データに基づく大気角運動量関数の風速項に見られる相違 : 眞崎良光
日本写真測量学会平成 17 年度秋季学術講演会 平成 17 年 10 月 26, 27 日 熊本市国際交流会館(熊本県熊本市)
- ・PRISM を使用した DEM/オルソ画像作成プログラムの開発 : 神谷泉
- ・カラー化米軍写真を用いた鳥瞰図の作成 : 長谷川裕之・吉田幸子・佐藤浩・小白井亮一(日本地図センター)
- ・各種高分解能衛星画像の地物判読可能性の検討 : 小荒井衛・飯田洋(地理情報部)・津留宏介(朝日航洋)・樋野隆司(日立ソフト)・峰島貞治(日本スペースイメージング)・洲濱智幸(パスコ)・蔭山邦幸(RESTEC)
日本地形学連合 2005 年秋季大会 平成 17 年 10 月 29, 30 日 名古屋大学環境総合館(愛知県名古屋市)
- ・自然災害研究のための地理情報の提供 : 宇根寛
ALOS/PALSAR に向けた InSAR 研究の展望 平成 17 年 11 月 18 日 宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター(東京都中央区)
- ・SAR データを無駄にしない InSAR 技術を使った非 InSAR による地殻変動抽出 : 飛田幹男・藤原智(測地部)
2005 AGU Fall Meetings 平成 17 年 12 月 5~9 日 モスコーンセンター(アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ)
- ・Validation of the temporal ocean mass variations from GRACE with in-situ observations (海洋観測を用いた GRACE 海洋観測からの海洋質量時間変動の妥当性評価) : 宗包浩志
- ・A Fault Model of the 1993 Klamath Falls Earthquakes Estimated From SAR Interferometry (干渉 SAR から推定された 1993 年クラマスフォール地震の断層モデル) : 矢来博司・チャックヴィックス(USGS)
- ・Time-varying Annual Signals in Geodetic Observation and in Atmospheric and Oceanic Excitations during 1980-2001 (1980 年から 2001 年における測地観測・大気励起・海洋励起の年周信号の時間変動) : 眞崎良光・飛田幹男
4th IVS General Meeting 2006 平成 18 年 1 月 9~12 日 コンセプション大学(チリ国コンセプション)
- ・Status and Results of JARE Syowa Station, Antarctica (南極・昭和基地の現状と観測結果) : 福崎順洋・渋谷和雄・土井浩一郎(極地研究所)
- ・Observation activities at the Tsukuba station (つくば観測局における観測状況) : 藤咲淳一(測地部)・小門研亮(測地部)・石本正芳(測地部)・高島和宏(測地部)・福崎順洋
- ・Local-tie survey at VERA-Ogasawara station at site Chichijima (父島・VERA 小笠原観測局におけ

- るローカルタイ測量): 眞崎良光・松坂茂(測地部)・田村良明(国立天文台)
- 北淡活断層シンポジウム 2006 平成 18 年 1 月 14, 15 日 北淡震災記念公園(兵庫県淡路市)
- ・人工衛星データによるパキスタン北部地震の地殻変動の検出: 宇根寛・藤原智(測地部)・飛田幹男・小沢慎三郎・佐藤浩・小荒井衛
 - パキスタン地震国際会議 平成 18 年 1 月 18, 19 日 パキスタン国イスラマバード
 - ・Interpretation of landslide distribution triggered by the Northern Pakistan Earthquake on 8 October 2005 using 2.5m-resolution SPOT5 Stereo-imagery (2.5m 解像度 SPOT5 ステレオ画像を用いたパキスタン北部地震による斜面崩壊分布の判読): 佐藤浩・小荒井衛・宇根寛・長谷川裕之・岩橋純子・神谷泉
 - 日本地理学会 2006 年春季学術大会 平成 18 年 3 月 28, 29 日 埼玉大学(埼玉県さいたま市)
 - ・地震防災のための地図情報: 宇根寛
 - ・高分解能衛星画像で捉えたパキスタン北部地震に伴う地形変化とその特徴: 小荒井衛・佐藤浩・宇根寛・長谷川裕之・岩橋純子・神谷泉
 - ・航空機搭載センサによる新宿御苑の熱環境観測: 佐藤浩
 - ・干渉 SAR による地殻変動の検出と地形: 関口辰夫・藤原智(測地部)・村上亮・西村卓也・飛田幹男・矢来博司・大井信三
 - ・融雪期における雪崩による土砂流動の特徴 - 秋山郷硫黄川流域の例 - : 関口辰夫・秋山一弥(土木研究所)
 - 日本地理学会 2006 年春季学術大会公開特別セッション 平成 18 年 3 月 29 日 埼玉大学(埼玉県さいたま市)
 - ・衛星画像から地表断層変位を探る: 宇根寛・熊木洋太
 - ・衛星画像解析による斜面崩壊: 佐藤浩・小荒井衛・宇根寛・藤原智(測地部)
 - 日本地形学連合 2006 年春季大会 平成 18 年 3 月 30~31 日 日本大学文理学部(東京都世田谷区)
 - ・SPOT5 衛星画像で把握したパキスタン北部地震の斜面崩壊分布: 佐藤浩・藤原智(測地部)・小荒井衛・宇根寛・飛田幹男・長谷川裕之・岩橋純子
 - ・中越地震による小崩壊(表層崩壊)の分布特性: 岩橋純子・佐藤浩

発表学会名、発表日、発表場所、発表課題名、発表者の順に掲載